



男衾中学校だより

令和3年11月30日(火)

No. 8

学校教育目標

真の学ぶ力を身につけ、たくましく生きる生徒の育成
自ら学ぶ生徒(知) 心豊かな生徒(徳) たくましい生徒(体)

男衾中学校 Web ページ

寄居町立男衾中学校
校長 市川 篤史



結果と過程、どちらが大事？

2学期も残すところ1か月程となりましたが、男衾中学校のどの生徒も一生懸命に頑張っている姿を見て、「本当に素晴らしい」と思います。新型コロナウイルスの感染状況も現時点では、落ち着いていますが、2学期がスタートした9月は、緊急事態宣言下であり、予定されていた行事や大会が延期や中止となりました。教室も2つに分け、少人数でのオンライン授業を行うなど、これまでの学校の風景とは異なる中での生活をしてきました。きっと心が折れそうになったり、投げ出したくなったりすることもあったかと思います。そういった状況の中でも、生徒一人一人の“一生懸命に授業を受ける姿”、“登下校時や校内等で互いに自然なあいさつを交わす姿”、“朝、放課後に黙々と部活動の練習に励む姿”など、素晴らしい男衾中の姿を見てきました。

特に3年生は、楽しみにしていた行事の中止により、気持ちに整理がつかなかったこともあったと思います。しかし、切り替えて、一人一人が卒業後の自分の進路について、真剣に考え、取り組んでいる姿を見て、「本当に素晴らしい」(繰り返しになりますが)と思いました。3年生にとっては、中学校生活も残り短くなってきています。それぞれの夢の実現に向け、頑張ってくれることを心から期待しています。1・2年生も3年生のそういう姿を見習い、頑張ってもらいたいと思います。

さて、ここでは、「ほめる」ことと、「ほめ方」について少し考えてみたいと思います。

「ほめる」ことは、成就感や満足感を与え、自己肯定感を育てるものと言われています。また、ほめられることによって、新たな目標に向かって頑張ろうとする意欲ややる気が喚起されます。つまり、「ほめる」ことは人を伸ばす上でとても大切なことです。

しかし、日本人は一般的に、頑張っている他人の前でほめたり、誇りにしたりすることをあまりしません。外国では、人前で我が子をほめることはよくあるそうです。人前でほめられた子供は、自分が認められたという自負や、やってきたことに対する自信が生まれ、誇りをもつことができるそうです。私たち大人は、もっともっと子供の頑張りやよさを認め、大いにそれをほめ、子供のやる気や意欲の喚起につなげたいものです。

また、「ほめ方」も大切と言われています。私たちは、結果をほめることはよくあります。とてもわかりやすいですから。子供がよい結果を出した時、それをほめることは、子供にとって満足感や成就感を与えることとなります。ですから、結果をほめることはとても大切です。しかし、結果だけをほめることを続けると、子供は「結果さえよければいいのだ」という考えに陥ってしまいます。

実は、結果をほめること以上に大切なのは、取り組んだ過程をほめることです。結果は、よい場合だけではなく、残念な結果になってしまうこともあります。人生では、よい結果を得ることの方が少ないと思います。よい結果が出なかったからといって、ほめられないというのは子供にとっては辛いものです。よい結果は出なかったけど、その過程で精一杯の努力をした子供もいるわけです。努力していた過程をほめることは、子供に、努力すること、一生懸命取り組むことの大切さを教えます。結果をほめることは、結果だけを見ていればいいのですから、ある意味では簡単です。一方で、過程をほめることは、子供の取組の全てに注意を払い、子供なりに頑張っているという場面を見つけなくてはなりません。逆に、子供をよく見つめることとなります。子供にしても、自分はよい結果を出せなかったけれど、親や先生が、自分が頑張っていた過程、姿を見てくれていて、それを認めてくれたということから、お互いの信頼関係を深めることにつながります。

小さなことでも、努力している姿をほめ、自信をもたせられるよう日々の子供の生活に関心を持ち、見守っていきたいと思います。

後期学級委員・専門委員会委員長 任命式(11月11日)

後期の時間割がスタートし、それに合わせて後期の専門委員会等もスタートしました。男衾中学校のリーダーとして活躍されることを期待しています。

学級委員長	さん
生活安全委員長	さん
体育委員長	さん
保健委員長	さん
給食委員長	さん
福祉委員長	さん
美化委員長	さん
緑化委員長	さん
図書委員長	さん
放送委員長	さん



後期学級委員

1-1	さん	さん
1-2	さん	さん
2-1	さん	さん
2-2	さん	さん
3-1	さん	さん
3-2	さん	さん
5組	さん	
6組	さん	



